

三重県立上野高等学校  
同窓会報

VOL.16

白 HAKUA 亜

事務局：〒518-0873  
三重県伊賀市上野丸之内107  
上野高等学校内  
TEL & FAX：0595-24-2231  
ホームページ：  
http://www.ict.ne.jp/~hakua/  
E-mail：hakua@ict.ne.jp



プロフィール  
たかだ さとる さん  
1984年—東京大学法学部卒業。  
朝日新聞入社。東京本社経済部次  
長、be編集長などを経て2011年  
4月—東京本社経済部長。2014年  
12月—取締役広報・ブランド推進・  
環境担当兼社長室長。2016年6月  
から取締役メディアラボ担当兼社長  
室長に

多様な媒体による情報が氾濫する時代を新聞人としてどうご覧になっていますか？  
デジタル媒体の発展につれて紙の新聞の発行部数が減少を続けていて情報源としての新聞の地位が相対的に下がっています。朝日新聞はかつて830万部あった発行部数が今は630万部です。ネットの世界ではいわゆる「フェイク(偽)ニュース」のような不確実な情報が飛び交っています。新聞社の役割は、世の中の役に立つ信頼できる情報をしっかりお届けするというのが基本です。さまざまな媒体を使って質の高い報道、ジャーナリズムの使命を担い続ける会社として、昨年つくった「中期経営計画」は「ともに考え、ともに作る、皆さまの豊かな暮らしに役立つ総合メディア企業へ」を理念に掲げています。

朝日新聞は2014年いわゆる「慰安婦問題に関する報道記事の取り消し」や「池上彰さんのコラム掲載を経営トップが止めた」問題などで社会から厳しい批判を受けました。  
社内で議論を重ね、主張と報道を明確に区別していこう、異なる意見もしっかり伝えていこう、ということを確認し、信頼回復を目指しました。それから3年、朝日新聞は権力にきちんと向き合い監視していくメディアとして見直していただいていると感じています。

現在ご担当の「朝日新聞メディアラボ」についてご紹介下さい。  
ジャーナリズムを担い続ける姿勢を根幹にしなが、若い人たちに訴えていくために幅広い分野での挑戦が必要で、2013年6月、当時の社長が新規事業への挑戦を宣言し、「君がやれ」と言われて「メディアラボ室長」を約1年半担当しました。新規事業はリスクが高く、難しいと感じていますが「歯を食いしばって」継続しています。

記者として印象に残っていること貴重な体験などは  
入社すると全員地方支局でいわゆる「サツマわり(警察担当)」で事故、事件の取材からスタートします。その後、本社勤務では専門性をつけるため自分のテーマを見つけていきます。新潟支局にいた2年間で興味を

日新聞社の方針であり、私がこの会社を選んだ主な理由です。  
学生時代から民主主義を守り平和と自由の価値を重んじることを仕事の中で自己実現できたら、と考えていました。自分の書いた記事によって読者に問題点をわかしてもらい、解決につながっていく仕事をしたいと思いました。「反権力」ではなく、是非で権力のやることを国民に代わって問題点を指摘し、いいことあれば推奨するという姿勢です。

「権力は腐敗する」という名言があり、歴史の教訓です。そこを国民から負託されて監視するのが新聞の役割です。権力者の都合のいいことばかり書くようになっては、新聞の存在価値はありません。そこだけは絶対譲らない、というのが朝日新聞ジャーナリズムとしてどう見えておられますか。

持って取材した「米どころ・新潟の農業」の連載記事が経済部長の目に止まり、入社6年目に東京本社経済部に入りました。時まさに「バブル」絶頂期で最初の取材先は「兜町」といわれる証券の世界でした。指標の「日経平均株価」が1989年末には市場空前の高値をつけ、「財テクをしないやつはバカだ」などと言われていた時代でした。が、私はそんな風潮に疑問を感じて鬱々としていました。

総合メディア企業への推進役に  
朝日新聞取締役社長室長 高田 覚さん(高29回)

私の机上には「忍者人形」が置いてあります。自分が伊賀上野出身ということと、忍者には強い関心があり忍者関連の小説はたぶん50冊以上持っています。自分が生まれ育った土地には愛着があり「ふるさと納税」もしています。伊賀市では毎年「忍者フェスタ」が行われているのですが発展してほしいですし、いろんな人材を輩出してほしいと期待しています。(取材・國井圭 高30回)

上野高校時代の思い出や若い世代へのメッセージ  
昨年、見学に来られた上高の理数科の人にも言ったのですが、「同じことをやるにしても、手を抜いてやるよりは一生懸命やったことはすべて自分の実になる」と考えています。私は高校時代に部活や生徒会はやらなかったが学校行事もクラスのみならず一生懸命やりました。勉強もそれなりにやりました。本を読んでいる時間が長かったかな。

新聞記者にとってやはり「特ダネ、スクープ」を書くのが一番ですね。最近の「森友」や「加計」の問題も朝日のスクープです。私も世の中を変えるような大きなネタでないものも含めていろいろ取り組んだので、充実した記者生活を送ってこれたと思っています。

同窓会長の左橋佳三  
上野高校同窓会員の皆様方には、益々ご活躍のご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会の事業運営に對しまして、物心両面に亘りご理解、ご協力を賜わり、お蔭様で同窓会事業も滞りなく運営出来ておりますこと大変有難く存じております。但し、ここ数年、年会費をご納付頂く方が漸減し、同窓会会計の収支バランスが悪化の傾向にありますこと、6面の別記「お知らせ」の通り来年度から「白亜」の発送を一部考え直させて頂くことを役員会でご決議頂いておりますのでご了承賜わりたく存じます。

「永遠に上野高校のファンとして」  
学校長 松井慎治  
同窓会員の皆様には、平素より上野高校へのご支援をいただき大変感謝しております。創立118年の年を迎え、全国世界各地で上野高校卒業生が、各所で活躍されておりますことは、この上もない喜びと誇りであり、またその姿は在校生にとっても非常に心強く、今後の自信につながるものと確信しております。着任しました4月からこの数か月の間、卒業生の皆様にお会いする多くの機会がありました。その中で上野高校は卒業生をはじめ、地元の方々から「上野高校ファン」に支えられており、学校に向

ける熱い思いや期待が大きいことを感じております。その思いに込めるよう、生徒、保護者、地域の期待に応え、信頼される、魅力ある進学校を目指して参ります。その中で、生徒には、色々な機会を通じての3つのことをお願いいたします。  
1 挨拶を大切にしよう  
2 気づきを大切にしよう  
3 命を大切にしよう  
これらのことは、今後の進路を考える上で進路先の大学、専門学校、就職先企業等、社会からの要請が非常に高いものです。今後上野高校は、日々邁進してまいります。

同窓会員の皆様方には、益々ご活躍のご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会の事業運営に對しまして、物心両面に亘りご理解、ご協力を賜わり、お蔭様で同窓会事業も滞りなく運営出来ておりますこと大変有難く存じております。但し、ここ数年、年会費をご納付頂く方が漸減し、同窓会会計の収支バランスが悪化の傾向にありますこと、6面の別記「お知らせ」の通り来年度から「白亜」の発送を一部考え直させて頂くことを役員会でご決議頂いておりますのでご了承賜わりたく存じます。

ビジネスファースト、仕事優先となることは致し方ないことでありますが、是非同窓会に對しまして目を向けていただければ幸いです。ご自身の魅力を感じていただける事業内容を展開するように努力することが喫緊の課題であると強く責任を感じております。

最後にになりましたが、皆様の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

皆様から母校へのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。更には今後共「永遠に上野高校のファン」であっていただくことをお願い申し上げます。

会員皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げますと共に、今後とも一層のご理解、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一方、国際化、情報化等の急速な進展、或いはエネルギー問題、少子高齢化問題等、深刻な難題が山積している現状を踏まえ、こうした時にこそ、地域的にも、年齢階層的にも大きな拡がりのある同窓会員相互の連携を密にすると同様に、情報の交換或いは親睦を図り、結束を固め、連帯を深めていただければ、同窓会そのものの意義が一層高揚するものと考えます。



プロフィール

とよおか りょうじ さん
学校法人佛教教育学園(佛教大学、京都華頂大学、華頂短大、中高一貫校2校、幼稚園3園)の理事長。早稲田大学第一文学部から(株)テレビ東京勤務を経て、昭和53年、実家の寺を継ぐため退職。昭和61年、念佛住職に。平成11年、浄土宗総長公室長。26年から現職。

東京のテレビ局でのお勤めから実家のお寺に戻られたきっかけは?
三週間の修行を何年間か続ける加行(けぎょう)という資格は学生時代と違っていたのですが、当時はお寺を継ぐ気もなかったんです。37歳の時、「そろそろ帰ってこなか」という親爺に「うん、帰ってもええで」と返事してしまいました。何か親爺が寂しい感じやっつたんです。帰ったら、「妻子の面倒みるからおまえは知恩院へ修行に行け」と言われて、5年勤めました。
今では教団経営とともに学校法人のトップに就かれました。
それはもう大変ですわ。今、少子化が進む中、私立の学校運営は国からの補助もありですが自力で何とかしなければいけない。その中で生徒さんにうちの学校を志願してもらうには、やっぱり環境・設備的な面を充実させたい。特にトイレなんかも綺麗でね。いじめ問題もない、安全安心な学校やとそれに僕らには重要かなと思いますけど、「制服も格好ええで」とかもね。
何よりもいい教師、いい職員がいることが大事です。あの先生は親身になって生徒をみてくれるという、やっぱり人ですな。経営者としてそういう先生を育てたい、そういう方に来ていただきたいと思っています。
何か事が起こったら、責任は全部追う立場です。自分の考えと違ってもいいです。民主主義の社会は多数決なので、51対49なら51の意見が通る。僕はなるべく49の人の思いにも目を向けて、それを70対30あたりに合意できるまで話し合います。トップというのには力を持つことと、理事の人数を19名から12名に減らす時はちょっと押し切ったかなあ、が、70対30あたりまでねばって事を決めたいと思っています。

特別編 キャンパス訪問 教団と学校経営のトップに

佛教教育学園理事長 豊岡鏡二さん(高11回)

浄土宗の教えのもとに作られた学校では何か特色を出していらっしやる?
いえ、うちは受験生には広く門戸を開けてどなたでもお越し下さい、です。もちろん法然さんの教えを基にした面はあります。一般教養で仏教の時間があったり、しかし広くどなたでも学問をしようという方や、一般社会に貢献できる人材を育てるということが目的です。
今の若者に一言。
自分自身をよく見つめてほしいという事です。見つめて反省をして、意見が違い違ったら、どちらがいいんだらう、自分はどうか考えるべきかと、と。
円柱でもね、上から見たら丸い、横から見たら四角ですわ、柔軟な見方ができる人になってほしいです。人間歳とったら衰えて、老いは醜いという者がおられますがこれは自然のなりゆき、当たり前のことです。皆老います。こういう事が分かってくれる子どもが育ってくれたらなあと思えます。
豊岡さんにとつての法然さんの魅力は?
法然さんはいわゆる秀才だと思っております。勉強がすごくできて、トップクラスの大学に行くようなね。その人が比叡山に入つて25年。勉強して努力を重ねて、かな修行を積んだと思ふのですが、自分だけが救われるのではなく、多くの人と共に救われるのがいいと思います。法然さんは自分のやり方でいいのだからと迷った、これでいいのなら、自分より五百年程前の中国の偉いお坊さんに夢に現れてほしいと願った、そうしたら本当に夢に現れそれでいいんだと告げた。そこがもう非凡ですな。僕なんか法然さん夢に出てくれと一生懸命思うけど一向に出てくれませんわ(笑)。(取材 安屋宣子 高19回)

地域おこしとチンドン...「7つの顔」

藤森莊剛さん(高18回)

「ある時は片目の運転手、またある時は...」は片岡知恵蔵が演じた「七つの顔を持つ男」多羅尾伴内の決めゼリフ。そのひそみに倣って言えば、我らが藤森莊剛さんは平成19年、三重県企業庁の次長で退職後、シートック調査役を経て、現在「ある時は阿波地域住民自治協議会会長、またある時は一般社団法人大山田温泉福祉公社(さるびの温泉)会長、馬野川小水力発電を復活させるプロジェクト地域協議会会長、大山田観光振興会理事長、阿波生

伊賀から



「野菜は体に良い、ということ、は、きつとみんな頭ではわかっていると思うんですけど、いかに興味をもつて食べるという行動に移しているのか。それを私らしく伝えていきたいな」と。かつてはハンバーガーも「トマト抜き」で注文していたというほど野菜嫌ひだった中澤さんが、嫁ぎ先の青果店を手伝うことになり、仕事にするならとことん勉強しようと思ったのがこの道へのきっかけだった。
野菜ソムリエは、勉強はもちろん必要だ。
産者森林組合理事、伊賀市社協評議員、交通活性化再生協議会委員、大山田元日マラソン実行委員、そして、その実体は「ちんどん富都路」代表、と八面六臂の大活躍。身長176センチ、体重113キロ、バスト120センチ、ウエスト115センチは、まさに地域の脂肪の(失礼)信頼の塊。誰もがその包容力、行動力に感謝している。いつも笑顔絶やさない丸い顔をブラスすれば、くまモンやいが★グリオも真っ青の着ぐるみみならずのゆるキャラだ。
毎年、富山県で行われる全日本チンドンコンクールのアマチュア部門で2年連続取組賞(第3位)を受賞している。懐かしのメロディを奏するソプラノサクソスは毎月のさるびの温泉での定期公演だけでなく、地域の催しに引つ張りだである。今年の秋には沖繩公演も予定されている。
阿波地域の「地域おこし」のリーダーとしては「あわトピアプラン」(まちづくり計画)の策定をはじめ、今年11月3日、4日にさるびの温泉で「忍者トレイルランニングレース」を実施し、全国に情報発信しようとしている。また、買い物バス「まごの手号」の発案、運営、地域の「困りごと相談」事業を立ち上げ、高齢化の進む地域の互助・協力体制の確立をめざしている。奇しくも桑名市大山田地区出身の早川君を



伊賀地域の「地域おこし協力隊」第1号として受け入れ、その活動を支援している。早川君は「いつも前向きに活動させてくれ、楽しくやることがあります」と阿波地域に配置されたことを喜んでいる。(取材 番條克治 高21回)

知れば、きつと好きになる

野菜ソムリエ上級プロ 中澤真規さん(高42回)
有機栽培などの生産者人と人、人と食の縁を繋ぎながら他にも様々なコミュニティからの発信など、活動は枚挙にいとまがない。そのひとつひとつは決して断片的なものではなく、中澤さんの「伝えたい」という想いがいっぱい詰まっ

「野菜ソムリエ」という言葉は聞いたことがあった。きつと野菜について、とても詳しい人なんだろうな、という漠然としたイメージをもって、三重県初の野菜ソムリエ上級プロ・中澤真規さん(旧姓:恵田留美)の店「中沢青果てくてく」を訪ねた。

「このバナナ、今青いでしょ。これが日を追うごとにそれはそれは鮮やかな黄色になっていくんですよ。そして三日も経つとシュガースポットという斑点が現れ、コクと甘みがグッと増します。そのバナナは抗酸化作用に優れ、お肌にもとても良いのですよ。ただそれを食べるというのではなく、見た目の変化と味の変化も楽しむ。食材のことは知れば知るほど奥が深く、それがまた楽しいですわね。」
中澤さんは、10月の同窓会総会で講演される。ここでは書き尽くせない野菜果物の、そして中澤さんの魅力を、ぜひ直接味わってほしいと思う。
プロフィールは6面に



「野菜は体に良い、ということ、は、きつとみんな頭ではわかっていると思うんですけど、いかに興味をもつて食べるという行動に移しているのか。それを私らしく伝えていきたいな」と。かつてはハンバーガーも「トマト抜き」で注文していたというほど野菜嫌ひだった中澤さんが、嫁ぎ先の青果店を手伝うことになり、仕事にするならとことん勉強しようと思ったのがこの道へのきっかけだった。
野菜ソムリエは、勉強はもちろん必要だ。
産者森林組合理事、伊賀市社協評議員、交通活性化再生協議会委員、大山田元日マラソン実行委員、そして、その実体は「ちんどん富都路」代表、と八面六臂の大活躍。身長176センチ、体重113キロ、バスト120センチ、ウエスト115センチは、まさに地域の脂肪の(失礼)信頼の塊。誰もがその包容力、行動力に感謝している。いつも笑顔絶やさない丸い顔をブラスすれば、くまモンやいが★グリオも真っ青の着ぐるみみならずのゆるキャラだ。
毎年、富山県で行われる全日本チンドンコンクールのアマチュア部門で2年連続取組賞(第3位)を受賞している。懐かしのメロディを奏するソプラノサクソスは毎月のさるびの温泉での定期公演だけでなく、地域の催しに引つ張りだである。今年の秋には沖繩公演も予定されている。
阿波地域の「地域おこし」のリーダーとしては「あわトピアプラン」(まちづくり計画)の策定をはじめ、今年11月3日、4日にさるびの温泉で「忍者トレイルランニングレース」を実施し、全国に情報発信しようとしている。また、買い物バス「まごの手号」の発案、運営、地域の「困りごと相談」事業を立ち上げ、高齢化の進む地域の互助・協力体制の確立をめざしている。奇しくも桑名市大山田地区出身の早川君を

要だけれど、実際に食べて比べてみることを大事にしている、産地や品種、また例えば一粒のイチゴも先と軸の方では甘さが違うといった体験を重ねながら、驚きと発見に魅了されていったという。
初級では、知ることでまず自らが楽しむのを目的とし、中級になると、プロとして伝える役割をもち、そして上級プロは、明確なビジョンを示して社会に貢献できることが求められる。
中澤さんは、野菜・果物の個性や魅力を知ることで「気づき・発見・感動の体験」を味わってもらい、そして楽しんで食べてもらいたいとの思いから、食べ比べなどを交えた五感+αで好奇心をくすぐるベジフル講座や講演会など、講師としても食育活動に取り組む。
有機栽培などの生産者人と人、人と食の縁を繋ぎながら他にも様々なコミュニティからの発信など、活動は枚挙にいとまがない。そのひとつひとつは決して断片的なものではなく、中澤さんの「伝えたい」という想いがいっぱい詰まっ

たものなのだ。
事業所向け青果卸店「中沢青果」に併設された「てくてく」は2年前に開業した。「まさちゃんセレクトベジフルGIFT」の提案をはじめ、こだわりの品が並ぶ。取材中にも常連の方が訪れ、店の真ん中のオーガニックバナナを買って行った。私たちが普段見るのとは様子が違うバナナがある。
「このバナナ、今青いでしょ。これが日を追うごとにそれはそれは鮮やかな黄色になっていくんですよ。そして三日も経つとシュガースポットという斑点が現れ、コクと甘みがグッと増します。そのバナナは抗酸化作用に優れ、お肌にもとても良いのですよ。ただそれを食べるというのではなく、見た目の変化と味の変化も楽しむ。食材のことは知れば知るほど奥が深く、それがまた楽しいですわね。」
中澤さんは、10月の同窓会総会で講演される。ここでは書き尽くせない野菜果物の、そして中澤さんの魅力を、ぜひ直接味わってほしいと思う。
プロフィールは6面に

懐かしの先生を訪ねて ⑬

坂口 慎一 先生



「白亜」の「懐かしの先生」にご登場をとお尋ねしたところ、「ネタなんかいいぞ。有爺と介護と米作りしかしてへんわ。いえいえそれで十分でございますと、久しぶりにお会いした。」

体育の坂口慎一先生(高17回、1973年〜90年上高在職)、日焼け顔は昔のまま。当時はいつも眉毛を立てて、遠くからでも「こらーっ!」と叫んでいるイメージだったが、時々見せて下さる八重歯が覗く人懐っこい笑顔はとも印象深く残っている。そしてサッカー顧問の先生。俳優の椎名桔平さんも教え子のひとりである。

回想 山岳部顧問の頃 奥 友親(高3回)

深田久弥の「日本百名山」が発行され、上野高校へ転任してすぐに経験もないのに山岳部の顧問を任せられた。当時の思い出を語る。

①昭和38年8月、男子部員7名と私が沢尻から奥穂高へ向かった。が、部員の一人が食中毒になり私は名古屋駅医療室で付き添う。他の6名は河童橋で落ち合う約束で先発。翌朝、回復し河童橋へ向かったが一行には会えず、仕方なく前穂高岳へ。稜線重太郎新道で山頂3090mに到達。途中上からの落石あり、猫が這うように登った。西方眼下に鋸歯状のジャンダルム、西穂高、焼岳の噴煙が見える。北には奥穂高、北穂高、槍ヶ岳のいずれも三千m級の岩峰が連なる。ピッケル一本が唯一の命道具。慎重に足場を掘り固めて下山。こぼれる雪片に共鳴して反対側の積雪が流れ出す。春先の表層雪崩を思うとぞっとする。這松から唐松林へ、やっ



▲白馬岳 日本100名山 No.5

と穂高奥宮、明神池に。テント、グラランドシートなく蚊取り線香と寝袋一つで月見の露が。井上靖著「氷壁」の東壁の近くを下した。別れた6名も元気に戻った。穂高の名は岩の秀(ほ)の高いに通じる。②昭和39年8月、白馬岳から唐松岳縦走。男子8名、女子2名、OB1名と若い新任顧問と私の13名。猿倉から徒歩で大雪渓へ。尖角の山頂2932mの東は急崖、西は緩やかなスロープ。山荘近くでピバクするが平坦地なく幕営に苦労。山の日暮れは速い。気温が低下し、風が吹き出す。夜中は砂が舞い込み寝苦しい。OBの新品カメラが震動で故障。夜間のテントの入り口は溪谷側に向けてのが鉄則。朝は夜と同じくカンチ飯にカレー。新入生が大半のため準備に手間取り出

人作りから米作りへ

伊賀から全国を経験された先生のサッカー人生に、「ブラヴォー!!!」と叫び返したい。そして退職後第二の人生がスタート。その情熱は「米作り」に向けられて行く。介護が必要になったお母様の「家で作った米がもういつべん食べた」というひと言が、農家の長男でもあった先生の背中をとんと押す。もと2町(1町=約サッカークート1面)程の田んぼで、家族の為に安心安全で美味しい米を、との思いから始めた米作りであったが、トラクターを新

くといふとんでもない成績を収めた。翌年も再び出場を果たす。選手として二度全国大会を経験したことがやはり何より大きかった。教師として母校に戻り、顧問と並行して隣の西小学校のサッカースクールにも関わるようになってから、サッカー指導にのめり込んでいく。伊賀の子供達だけで全国へ行く、という思いをぶれることなく持ち続けた。

それが実現したのは、上野工業高校(現・伊賀白鳳高校)へ赴任して2年目の1995年正月。四日市中央工業高校に勝って念願の全国大会初出場となった。選手として、指導者としても

調したことで次々に近所から頼まれて今や22町もの田んぼを家族で管理するようになった。5年連続特A受賞の伊賀米コシヒカリの生産者としての思いのたけを、いつぞやの同窓会でスピーチされたが、先生の情熱に押されみんな面喰らっていた(笑)。

坂口家は4世代8人の大家族。去年三人目のお孫さんが誕生し、有爺としても大活躍の毎日。一家の長として家族を大切にされ、忙しくとも大変幸せでいらつしやる。

坂口慎一先生。信念のひと。真つすぐに、厳しく、でもとても温かい。教え子の中には、全国のサッカー強豪校で指導者になつていく人も多く、また息子さんのひとは、米作り農家を継ぐと決められた。先生の「教え」は、次の世代にしっかりと受け継がれて行く。

私たちも大人になって昔の様に大声で怒ることが無くなったのはちよつと寂しいね、と取材を終え、互いに何やらしみじみしてしまつた。御歳七十歳。これからも米作り、孫育て、そして伊賀フットボールクラブシニアチームの現役として、変わらず真つ黒に日焼けしていて欲しいと思います。

(取材 高11回 岡森史枝 菊山美早 木宮康介)

伊賀で一人芝居を熱演

劇団青年座・山路和弘さん(高24回)

山形 県に実在する

山路和弘さん企画、制作、出演の一人芝居「江戸怪奇譚ムカサリ」が、6月2、3日に、伊賀市大谷の前田教育会館蕉門ホールで上演された。(写真)

会場には上野高校の同級生や伊賀の方はもとより関西、関東方面や遠くは鹿児島からファンが詰めかけ、2回の公演は満席状態で大成功を収めた。

今回の公演が行われた蕉門ホールは山路さんと同じ伊賀市外山出身の前田維(ただし)(1912〜2005)さんが、故郷伊賀の人と文化と地域を育てる目的で設立した「公益財団法人前田教育会」の活動拠点として1992年に竣工した。今年で開館25周年記念事業の一環として山路さんの快語を得て実現した。

風習で未婚で早逝した者の架空の婚儀の様子を絵馬にして奉納し、死後の幸せを祈るという「ムカサリ絵馬」にヒントを得た怪談で、江戸の裕福な商家と、没落した旗本の間で取り交わされた婚姻を巡り、血なまぐさい事件、そして驚く結末へと発展する物語。数年前に原作を読んだ山路さんは、いつかは演じたいと温めていたという。落語好きの山路さんだけあって、何人もの登場人物がそれぞれ個性を持って現れ、怪談とは一味違う笑いが随所に盛り込まれていた。



山路さんは上野高校在学中は吹奏楽部の部長として活躍し、卒業後上京。1977年に青年座研究所に第一期生として入所し、2年後に劇団青年座に入団。以降40年以上にわたり、舞台、ミュージカル、映画、テレビドラマなど俳優として幅広く活躍する一方、声優として数多くの洋画やアニメの吹替えを担当している。2011年4月に

は、ミュージカル「宝塚BOYS」、「アナン・カレリーナ」での演技と高い歌唱力に対し、第36回菊田一夫演劇賞を受賞している。さらに14年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」では毛利家の外交僧「安国寺惠瓊」を演じた。またイギリスのアクション俳優「ジェイソン・ステイサム」の吹き替えは全て山路さんが担当している。

山路さんは今後もフィクションとして面白い話になる「江戸怪奇譚」というシリーズの一人芝居を、ライブワークショップとして取り組んでいきたいと意気込んでいる。

(吉輪康一 高24回)

映画と演劇

遺作『一茶』秋に封切り

吉村芳之さん(高16回)

映画「一茶」が今秋、封切り予定である。俳諧師・小林一茶の生涯を描いた藤沢周平の小説を映画化したもので監督は吉村芳之さん。NHKのディレクターとして大河ドラマ「独眼竜正宗」、「琉球の風」、「北条時宗」などを演出したことで知られる。退職後はNHKエンタープライズで、さらにフリーになってからもテレビドラマ作りを続け、昨年は「一茶」(角川映画)で初の映画監督を務めた。

ロケは吉村さんがドクターストップも押して続けられたとのこと。編集はスタッフが完成させて全国公開を待つばかりとなり、4月21日、東京・新宿のホテルで「懇話会」が開かれた。吉村さん演出のドラマの出演俳優からの生花がステージにびっしりと飾られた会場には、北大路欣也、富司純子、遠藤憲一など吉村作品におなじみの俳優や、「一茶」に出演の中村玉緒、伊藤淳史など大勢の出演者の他、遺族をはじめドラマ制作関係者、上野高校の同窓生などが出席した。

の原作で戦中の女学校として、後者は吉村さんの高校生の時代を想定した作品だった。

古川タクさんの絵も

映画「一茶」ではエンディングロールにイラストレーター、古川タクさん(高11回)が一茶の句に重ねたイメージ画が挿入されている。これは生前に親交のあった高校の先輩である古川さんに依頼していたもの。古川さんは6月に京都の画廊でその作品展を開いて一茶の句に合わせた軽妙な絵が見学者の目を引いていた。(写真)

上野高校の二人の同窓生が制作に関わった映画「一茶」にご注目。(福田和幸 高18回)



▲吉村さんの遺影と遺品

その吉村さんが、今年の2月5日、「一茶」の編集作業の途中で急逝されました。ご冥福をお祈りいたします。

出演俳優やゆかりの人たちの追悼スピーチ、数々のドラマや「一茶」の撮影風景のシーンを編集した映像により吉村さんの演出家としての功績や人となりを偲んだ。

吉村作品では上野高校明治校舎がロケの舞台になっている。1979年の『欲しがりません勝つまでは』と90年の『夢帰行』の2作。前者は田辺聖子

伊賀の文化が世界へ  
ユネスコ無形文化遺産に登録

上野天神祭が、世界の祭りとなった。昨年十二月一日午前二時二分(日本時間)のことある。全国にある「山・鉦・屋台行事」三十三件の一つとして、伊賀地方を代表する祭礼である国指定重要無形民俗文化財の「上野天神祭のダンジリ行事」が、ユネスコ無形文化遺産に登録された。

早速、その日の午前八時三十分から、伊賀市のだんじり会館で、登録を喜ぶ太鼓の演奏やくす玉割りなど記念式典が執り行われた。同日から市役所本庁舎でも、上野天神祭のパネル展示が行われ、十二月十八日には、登録を記念した記念講演やお囃子の演奏が、市立上野西小学校で行われた。

ふるさと伊賀  
なう

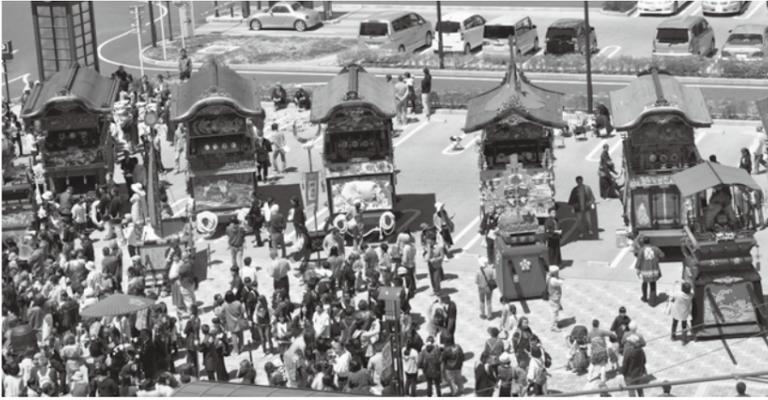
「忍びの国」伊賀の3題



映画「忍びの国」人気から伊賀忍者が改めて注目されている。忍びの「家」伊賀では今年に入って三つの取り組みが話題になっている。

**其の壱 「忍者市宣言」**  
2月22日(ニンニンの日)に伊賀市は「忍者市」であることを市議会で議決した。郵便の宛名にも有効とか。番号をお忘れなく。

**其の弐 「忍びの里」が日本遺産に**  
4月28日にはお隣の甲賀市と共に「忍びの里 伊賀・甲賀リリアル忍者を求めて」が文化庁の日本遺産に認定された。伊賀、甲賀両市は観光振興協議会を設立し共同



れ替えて合わせて、ハイトピア伊賀前の多目的広場で、だんじり6基の展示とお囃子の演奏、鬼行列と七福神の出演が行われ、好評を博した。(写真)  
このように、記念行事がつづく中、五月二十六日には、歴史的な重大発表が行われた。上野天神祭地域振興実行委員会(岡本栄委員長)が、祭礼の日程変更を決定したのである。江戸時代に始まって以来旧暦の九月二十五日、明治初年に太陽暦(新暦)が採用されて十月二十五日の開催と固定していた上野天神祭の本祭の日程が、本年から「十月二十五日までの直近の日曜日」

となったのである。つまり、本年度は十月二十日(金)・二十一日(土)・二十二日(日)での実施となる。  
祭礼まで五か月を切った年度途中での決定であったため、すでに十月二十五日に向けて宿泊予約している上野天神祭ファンや、年間行事計画でスポーツの試合などが組まれている祭礼行事参加者への対応が急務となったが、観光面では、週末開催によってさなる集客が見込まれ、名実ともに国の宝物、また、世界の遺産として多くの方々へ愛され親しまれる祭礼行事となることを期待したい。  
遠方の同窓生の皆様は、この機会にぜひ伊賀へ里帰りしていただき、上野天神祭の見物だけにとどまらず、参加者となってみてください。

**〈支部だより〉**  
**東京支部**  
17回を迎える東京支部総会・懇親会(隔年開催)は昨年11月20日(日)渋谷表参道の青山学院アイビーホールで伊賀から左橋佳三同窓会会長、東則尚校長先生他のご出席を頂き、支部会員79名の参加のもと盛大に開催されました。総会では新支部長に北出明さん(高13回)が選ばれ、支部会則の一部変更も承認されました。講演会では、伊賀から伊賀学検定委員会問題作成委員長の滝井利彰さん(高18回)をお迎えし「伊賀学のすすめ」と題してご講演頂きました。第1問「能に因む公園は？」(答え…世阿弥公園)から始まり第3問「藤堂藩の東京の墓所は？」(答え…上野動物園)まで歴史的な説明を頂き、改めて伊賀の歴史の奥深さを痛感しました。懇親会では恒例の故里の景品が当たる福引抽選会が行われ、目玉景品が引き当てられる毎に歓声が上がりました。多くの景品をご寄付戴きました方々には御礼申し上げます。  
また、今年の東京支部新卒業生歓迎会は6月11日(日)(毎年6月第二日曜日)に開催し、例年より多くの学生の参加で盛会でした。好評の東京支部会報「伊賀の友垣」の今年号(28号)は10月1日発行予定です。  
(東京支部事務局 中森建夫 高14回)

**京阪神支部**  
支部総会を今年も5月21日(日)11時より例年同様の大阪天満橋の「大阪キャッスルホテル」で開き、同窓会本部から左橋会長、事務局長の國井先生に上高の松井校長らを迎え、京阪神地区在住者24名が参加しました。  
左橋会長からは、本部同窓会への出欠反応や会費納入状況等から同窓会運営の現状が吐露されました。会務・会計報告など総会議事のと恒例の講演は、伊賀市副市長の大森秀俊さん(高21回)が、「伊賀市の現状と課題」と題して話され、住民一人当たり所得など市の三重県内での地位等を再認識したほか、市庁舎新築計画や「俳句」のユネスコ無形文化遺産登録を目指すなど、市の多彩な動きを知らされました。後半の懇親会は隣室で丸テーブルを囲み、互いに一年振りの再会が故郷を懐かしみながらの又とない楽しいひとときを過ごしました。  
なお、10月・翌3月に顧問、副支部長、幹事、会計監査などなる役員会(現19名)を、大阪キャッスルホテル内の中華料理店「錦城閣」で開き、支部運営などについて審議することとしております。(支部長 百本惇 高7回)

**来年解散へ  
上中会総会で**  
6月4日、ヒルホテル・サンピア伊賀で開催。出席会員24名。(近年、出席者が著しく減少)  
10時、星会長の挨拶で開会。上野高同窓会 左橋会長、迂遠校長、高松校長からご祝辞を賜り、伊賀市岡本市長からは記念講演の後、演説に賜った。  
議長に吉岡亮二氏(47回)を選出し、平成28年度事業報告、会計報告  
▲松井校長の飛び入りの見事な指揮に感嘆の声が高松校長から  
13時、川浪和夫氏(40回)の乾杯後発生で懇親会に移り、吉川邦生氏(49回)の中締め、西島壮六氏(43回)の指導で上中校歌を合唱し15時終了。  
今回の総会で「来年の総会を持って解散」が決定した事を重く受け止め、先人たちの築き上げた栄えある伝統に輝く上野中学を基となす上中会の名に恥じぬよう26年間の活動を味わい深い余情をもって幕を下ろせるよう有意義な一年であれかしと互いに念じつつ散会となった。  
(書記 葛原 寛 46回)

**名古屋支部**  
7月になり暑さが厳しくなり年齢的にも堪えるようになりました。最近では同窓会活動も役員各位の仕事

が忙しく、ご無沙汰しております。これから来年の総会に向け全員が力を合わせ活動していきます。  
私は6月23日、津市で前教育長・野口君のご苦勞さんに参加してまいりました。参加者は上高20回生有志6名です(内2名女性)。卒業以来48年ぶりに再会をした同級生もおり、大変楽しい会でした。久しぶりに懐かしい顔を見て全員がいつの間にか高校生にもどおり、初恋の話や先生の話題等に時間を忘れたいに盛り上がりました。最後には互いの病気の話や今後時間があるればまたこのような機会を持つように互いに健康で頑張りましょうと誓い合い、解散となりました。  
(支部長 松村直人 高20回)

**速報 北出明さん(高13回)に  
外務大臣表彰**  
杉原千畝の発給したビザによってナチスの迫害から逃れた多くのユダヤ人を安全に救済に運んだ日本人、そしてアメリカやカナダへ渡ったユダヤ人の

足跡を追った「命のビザ 遙かなる旅路」を出版。その後も欧米各国で講演活動を行っている北出明さん(現・東京支部長)が、日本とユダヤ社会との相互理解の促進に功績があったとして7月6日、外務大臣表彰を受けられた。

各回のつどい

高3回

平成28年10月7日・8日 上高卒業以来、65年間毎年続けて来た同窓会。今年も神原温泉で開催した(出席者25名)。もう心身共に限界だと誰しも言うが旧友に会うと不思議に生きる力が湧いて来た。学友だから言える昔の思い出。日常生活の愚痴。世の中の事。好き勝手に憂さ晴らしもよし。来年も生きて会えるかな!!余計な事は考えず頑張ろうと解散する友に健康と幸多かれと祈る。(幹事 樋口)



高4回

「さまざまな事おもひ出す明治校舎かな」今年も東京、神奈川、滋賀、大阪、兵庫、奈良と県内各地から、過去最多の45名の同窓生が三田清に集い、過ぎ去った65年前の明治校舎の思い出を語り合われた。最初に玄関口ビーで森宗博さんの腕前で記念写真を撮り、洋間に移動し杉森正美さんの総合同会会を運ばれ、代表の西田晃が開会の挨拶を発し、森宗博さんの発声で乾杯、宴が始まった。級友はいいものだ。堅苦しさも遠慮もなく親しく和やかに会話が弾んだ。

余興に移り皮切りに幹事一同から故郷に受け継がれる「伊賀上野小唄」を、次いで吉村靖子さんから詩吟「訪城之越遺跡」「近江八景」「白鳳城下之感懐」「讀俳聖松尾芭蕉」「剣豪荒木又右衛門決闘鍵屋の辻」を鑑賞し最後に森宗博さんが力強く津軽三味線を演奏され盛大な拍手を送られた。暫くして稲田守さんと福持博文さんコンビの漫談で笑わされ、福永久子さんの詩吟、服部ふみ子さん、福永久子さん他多数の方々の演歌で会が盛り上がった。毎年のごとく戸上宗賢さんからスピーチがあり、これからの人生の糧となった。そして久しぶりに参加された北泉正さんから中締めの一本締で同窓の絆が深

東京支部新卒業生

歓迎懇親会に参加して

68回生が卒業式を迎えた3月1日から、早雲3ヶ月余りが経ちました。高校では、新1年生を迎え新たなスタートを切っている中、広く全国に巣立っていった卒業生一人ひとりも各自の道をしっかりと歩んでくれていることとあります。そんな折、今年度も東京支部の新卒業生歓迎懇親会が6月11日(日)に開催され、新卒業生の学年団を代表して参加させていただきました。新卒業生9名、既卒業生10名の学生諸君が出席してくれました。多くの諸先輩方から、歓迎や励ましの言葉、アドバイスをいただき、伊賀の地から遠く離れて日々励んでいる彼らにとって、温かな実りのある時間を過ごせたことと思います。また、東京や関東圏で、通う大学や住んでいる場所の違う元同級生が、近況を語り合い、次に会う予定を

高8回



地元伊賀市はじめ東京、名古屋、京都、大阪、奈良と各地区幹事持ち回りで開催しており、今回初めて名張で開催されました。来年お互い傘寿を迎え上野高校卒業以来60年の節目の年でもあり、定期的開催の見直しの案内をいたしましたところ、6月7日、新緑の美しい赤目温泉対泉閣に鈴鹿市からご出席の恩師古山先生はじめ東は群馬、埼玉、西は福岡県から70名の同期生が参集し盛大に開催されました。

相談している様子を見ながら、同窓生のつながりの大切さを改めて感じました。近い将来、彼らが自らの夢を叶え、その体験や経験を後輩に語ってくれる日が来るのが楽しみです。「光陰矢のごとし」というように、時間はあっという間に過ぎ去ってしまいます。私たちに与えられている時間はすべて同じ中で、その与えられた時間を無駄にすることなく、一層成長して大きくなったみんなに出会えるその日を楽しみにしています。(68回生3学年理科担任 福田武司 高48回)



高13回

昭和37年3月に卒業いたしましたから、50有余年、私達は何時の間にか3年前に古希を迎えておりました。平成28年11月5日、上野赤坂町の三田清において同窓会を開催いたしました。会を重ねるうちに「やあ、久しぶり」という簡単な挨拶で、何時の間にか会が始まった様子となりました。しかし改めて出席者全体の記念写真を撮り、その後、一応は正式な会として進行していきました。物故者への黙祷を終え、春秋の褒賞を受けられた方を今年度に限り披露、しかしすでに多くの方が受賞されているようでした。

最後に締め括りとして、幹事の藪中氏のリードで校歌・学生歌・応援歌I IIを全員で大合唱し、次回の再会と今回以上の参加者を願って閉会となりました。その後別室で約二時間くらい30名の出席で二次会を持ち散会いたしました。とにかく、青春時代の中たった3年間でしたが、共に学び、遊び、部活動に没頭し、個人的にはいろいろ悩み、思考するなど感慨深い時期であったように思います。五十年後今日同窓会を

米寿を迎えられた古山先生のご挨拶、遠来の福岡中間市伊室君の乾杯の音頭で開宴、美味しいお料理と久し振りの再会で時間の過ぎるのを忘れ欲談し、恒例の生駒市在住合田さん美声のリードによる校歌、ふるさとを全員で合唱し盛会裏にお開きとなりました。本会発足当時から中心となりご尽力頂きました地元伊賀市の岡森君はじめ歴代の幹事を代表し惜越ながら皆様方のご支援ご協力に対して厚く御礼申し上げます。

高22回



前回の還暦同窓会から4年ぶりの平成28年8月11日、第22回生(昭和46年3月卒)の同窓会をサンピア伊賀で開催しました。今回も、奥友親先生、山田得治先生のご出席を賜りました。同窓生は、初参加の方も数名いて、前回は上回る74名の出席となりました。初めに、両恩師からお言葉を頂戴しました。懐かしいお姿に接し、一足飛びに高校時代へとタイムスリップ。私たちへの激励を込めたお話しに胸を熱くしました。続いての同窓生全員の近況報告では、退職後の新しい取り組みを始め、親の介護をしている人・現役続行中の人等々、還暦を過ぎ、これまでより多様な話題で盛り上がり、予定時間超過に司会者がやきもきするほどでした。

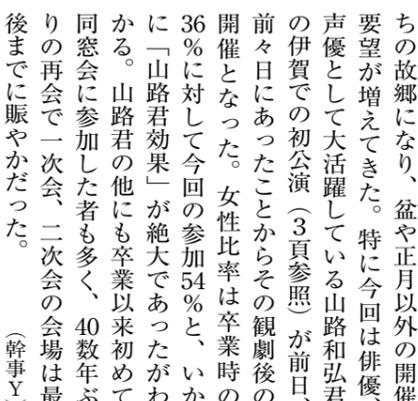
当会終了に伴い収支報告より余剰金について、同窓会本部に寄付という事で報告させていただきます。お互いに何時までもお元気で!(名張地区幹事)

高24回



6月3日、伊賀市内のホテルで2年半ぶりの同窓会を開催しました。従来は正月に開催し、遠方にいる人の帰省に合わせた、還暦を過ぎるとそれぞれの居住地が子供達や孫たちの故郷になり、盆や正月以外の開催要望が増えてきた。特に今回は俳優声優として活躍している山路和弘君の伊賀での初公演(3頁参照)が前日、前々日にあつたことからその観劇後の開催となった。女性比率は卒業時の36%に対して今回の参加54%と、いかに「山路君効果」が絶大であったがわかる。山路君の他にも卒業以来初めて同窓会に参加した者も多く、40数年ぶりの再会で一次会、二次会の会場は最後まで賑やかだった。(幹事)

通じて思い出してみるのも意義があると思うのは私だけではないと思います。(文責 川村直)



来春 横光利一誕生120年

第19回「雪解」のついで」が3月18日、「ふるさと会館」が開かれた。「横光利一とふるさと」をテーマに、作品朗読とフルト演奏、講演、全員参加クイズなどで約100名の参加があった。次回、20年3月17日は横光生誕120年、「雪解」のついで」が第

母校の近況

授業・文化祭を公開 全日制

「二〇一八年問題」という言葉があります。木造の四〇番校舎で一年生が「すし詰め」になっていたのは昔の話、一八歳人口は一九九二年をピークに減り続け、二〇一八年からはさらに減少します。すでに大学の約五割が定員割れをおこし、私立大学のいくつかは閉校しました。公立高校にとっても超少子化は他人事ではありません。そこで上野高校では現在「上野高校をより知ってもらう」取り組みを進めています。

まず授業公開では保護者や中学生が「普段の授業」を参観します。また「高専生活入門講座」では中学生に対して在校生が高校生活の様子を紹介し、教員が授業をします。さらに昨年度から文化祭を土曜日開催とし、保護者や中学生に限って公開しています。

参加者からは生徒の様子について「落ち着いて授業を受けていた」「学校紹介が素晴らしい」「いきいきし

20回となる。ハイトピア伊賀で開催予定。ぜひご参加を。

現代仮名づかい版『雪解』を再版

生誕百年記念事業の一環で刊行した横光利一の中学時代を題材にした作品『雪解』の現代仮名づかい版を全面改訂して再版。市内の書店、同窓会事務局で販売中。(千円)

ていた」など、多くの感想を頂いています。

今は公立高校も競争の時代、斬新な取り組みや進学実績などが求められます。しかし高校の最大の財産は生徒です。まずは生徒を育て、その成長を発信する。そのため継続が地域に信頼される学校づくりにつながると信じます。(教諭 富澤要樹 高34回)

観光客に校舎案内 定時制

上野高校定時制では、28年度より春の球技大会、秋の文化祭、冬のスポーツ大会などの行事を定時制生徒会が主体となって計画立案し、運営・実行を基本的に生徒の手で行っています。また、昨年度に引き続き4月の伊賀市「忍者フェスタ」期間中に無料休憩所「歴史と文学の散歩道」を開設し、観光客向けに上高明治校舎の歴史、伊賀上野城、伊賀市の年間行事などについてまとめたスライドを発表し、同時に明治校舎および横光利一記念館の見学案内も行い、好評を博しました。(教諭 國井圭己 高30回)

お知らせ 次号からの会報送付について

会員の皆様方には、年会費のご納付等、ご協力いただいております。残念ながら近年そのご納付いただく方が漸減し、収入総額が減少の一途を辿る一方、同窓会事業の遂行を優先することから、同窓会会計の収支バランスが悪化し、積立金の多額の取り崩しを余儀なくしております。この状態があと数年続きますと同窓会活動の存続そのものが懸念されます。

特に、同窓会事業費のうちで最も多額となっておりますのが会報「白亜」の発行費用で約420万円、その内、郵送料が約200万円近くとなっております。

つきましては、現在会報を二万七千通近くご送付申し上げておりますのに対し、年会費をご納付いただく方が10%にも満たない約二千名弱という状態です。そこで、役員会で協議の結果、次年度(平成30年8月発行、第17号)より、年会費が三年を越えてご納付いただけない方へは、会報「白亜」の送付を停止させていただくことといたします。事情ご賢察賜わり年会費の納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、高校卒業後4年以下の新入会員様には、同窓会をご理解いただく上で、全員にご送付申し上げます(文責:会長 左橋佳三)

平成29年度(2017年) 総会のご案内

とき 10月7日(土) 14:00~ 記念講演 15:00~ 総会 16:00~ 懇親会(会費3,000円)

ところ 上野フレックスホテル 伊賀市平野中川原544-2 ☎0595-21-3111

記念講演

(一般公開)

「知らないで食べる」から「知って食べる」へ 野菜ソムリエのベジフル講座



講師 中澤 真規さん (高42回)

プロフィール 日本野菜ソムリエ協会認定 野菜ソムリエ上級プロ(2016年現在三重県1名)、アスリートフードマイスター3級・野菜ソムリエコミュニティみえ代表。野菜ソムリエ(初級)コース通信制地域校・三重教室主宰。カルチャーセンターや行政、企業からの依頼による講演・講座をはじめ「知らないで食べるから知って食べるへ」をテーマに八百屋の野菜ソムリエ目線での野菜果物を軸とした食育講師を務める。2面のインタビュー参照

懇親会アトラクション

「サラダ」による女声コーラスの演奏

28年度総会報告

平成28年度の総会が、去る10月15日出席者約80名を迎えて上野フレックスホテルで開催され、前月に行われた役員会・理事会の議案が原案通り承認されました。総会に先だつ記念講演会では西嶋恭司さん(上高27回、東海大理学部物理学科教授)が「謎の素粒子 ニュートリノに挑む」ノーベル物理学賞に纏わる物語」という演題で、宇宙物理学の最先端で研究されていることを一般の人にもわかりやすく、また興味深いエピソードなどを交えながらお話されました。少し高度な内容もありましたが、興味深く聴衆が聞き入るお話をしました。

「宛名不明会員解消」にご協力を 上野高校同窓会は4万2000名以上の会員により構成されており、会員情報の正確な把握と情報管理は同窓会活動の根幹であると考えています。しかし、年月の経過にともない、転居・ご逝去等により、住所等の情報が同窓会事務局で把握できなくなっているケースが出てきております。ご住所等が事務局で把握できなくなっている会員の方には「白亜」をお届けできません。(学年同窓会開催案内状の宛名情報も幹事様に提供できなくなっています。このような方について、ご本人あるいはご家族、ご友人の方から同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。また、ご逝去された場合も、同様にお問い合わせいただけます。ご本人(ご家族)に確認の上、情報を管理させていただきます。この取り組みは、会員の基礎情報正確化のためであって、お知らせいただいた情報をご本人(ご家族)の了解なく「同窓会名簿」に掲載することはありません。ご協力をよろしくお願いいたします。

会費納入のお願い

会員の皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。本同窓会にはご承知の通り、非常に活発な活動を行っております。

- ・ 同窓会報「白亜」の発行
・ ホームページの運営
・ 一般公開講座(ふるさと伊賀「雪解」(本年度は休講)
・ 「再発見」(本年度は休講)
・ 百周年記念施設の維持管理
・ 東京、名古屋、京阪神支部への支援
・ 上中会、くればは会、扇の芝会への支援

- ・ 各学年同窓会への支援
・ 上野高校への支援
・ 同窓会名簿の管理
・ 総会の開催
・ H.A.Q.U.A.ホールの支援
このような同窓会活動は、全会員にお願いしております。年会費と毎春の卒業生による新入会員の入会金により運営されています。会費納入に関しまして、以前は約2,800名の会員のご協力を得られていたが、近年、ご協力いただいていた会員は2,100名あまりとなつてきております。また、上野高校のクラス減にもない入会金も減少してきております。

上野高等学校同窓会の経済基盤を強固なものにし、母校への支援、会員への情報サービスの充実、更なる発展のために、今年度も年会費(一口2,000円)の納入につきまして、会員皆さま方のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

明治37年の「夏休みの心得」

岡森明彦さん(高10回)から寄贈された「夏期休業に際し父兄諸氏に望む」(明37 校長 秋鹿見橋)から、その要点をご紹介します。

- 夏休みは「一定の課業なきがため... ややもすれば遊惰に流れ不良の習慣を養ふへき恐れあり...」として「父兄諸氏」には特に周到な監督をねがう、との前置きで次の14項目の注意を長文で列挙している。
1. 朝寝は有害 2. 下宿や寄宿舎生には家事を 3. 毎日午前は2時間の復習を 4. 昼寝、夜遊びは有害
5. 生水、氷水、ラムネ等は病原になるので禁止 6. 旅行、外泊は極力禁止
7. 祖先の墓参り旧師を訪問すべき 8. 服装の不体裁なきよう
9. 小説を読むこと、煙草の禁止
10. 不要な小遣金は浪費癖を養う
11. 小遣帳をつけさせる
12. 教科書以外の不要な書籍は害ありて益なし
13. 「生徒手簿」を読み保証人欄に記名を
14. 9月1日の始業に差し支えなく、さて、いまの高校生とくらべると...

平成28年度 寄贈図書等

帖装本「横光利一と俳句」

福川 良 (高6回)
会報及び新聞 岡森明彦 (高10回)
「猪木正道著作集」1~5巻
「評伝 吉田茂」上中下巻

「天皇陛下」 猪木正道著
百本豊嗣(高3回) 寄贈

平成27年度(平成27年9月1日~平成28年8月31日) 三重県立上野高等学校同窓会一般会計収支決算書

1. 収入の部 (単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 対予算比. Rows include 前年度繰越金, 入会金, 年会費, 本年度会費, 特別積立金繰入, 雑収入, 合計.

2. 支出の部

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 対予算比. Rows include 会議費, 総会費, 諸会議費, 運営費, 事務局人件費, 事務局消耗品費, 電気・通信費, 旅費, 渉外・慶弔費, 一般印刷費, 振込手数料, 雑費, 事業費, 会報発行費, 会報編集費, 会報印刷費, 会報封入費等, 会報封入費等, 会報封入費等, 講演会等開催費, 講演会費, 地域文化振興活動等後援費, 上高同窓会顕彰活動費, 助成費, 支部助成費, 学年同窓会援助費, 備品等整備費, 備品費, 図書費, 学校費, 事務補助費, 事業補助費, 庭園整備補助費, 予備費, 予備費, 小計, 次期繰越金, 合計.

平成28年度(平成28年9月1日~平成29年8月31日) 三重県立上野高等学校同窓会一般会計収支決算書

1. 収入の部 (単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額A, 前年度予算額B, 前年度決算額C, 対A-B, 対A-C. Rows include 前年度繰越金, 入会金, 年会費, 本年度会費, 特別積立金繰入, 雑収入, 合計.

2. 支出の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額A, 前年度予算額B, 前年度決算額C, 対A-B, 対A-C. Rows include 会議費, 総会費, 諸会議費, 運営費, 事務局人件費, 事務局消耗品費, 電気・通信費, 旅費, 渉外・慶弔費, 一般印刷費, 振込手数料, 雑費, 事業費, 会報発行費, 会報編集費, 会報印刷費, 会報封入費等, 会報封入費等, 会報封入費等, 講演会等開催費, 講演会費, 地域文化振興活動等後援費, 上高同窓会顕彰活動費, 助成費, 支部助成費, 学年同窓会援助費, 備品等整備費, 備品費, 図書費, 学校費, 事務補助費, 事業補助費, 庭園整備補助費, 予備費, 予備費, 小計, 次期繰越金, 合計.